

宮川右岸堤防（桜堤）の改修計画（案）

堤防整備
計画区間

平成26年 3月18日(火)

国土交通省三重河川国道事務所

1. 動線について（堤防改修計画の位置づけ）

◆ 景観検討委員会意見

- 全体の動線計画について説明して欲しい。
- 御遷宮の結果、観光客が増加しているため、桜の渡しと柳の渡しを一体的に散策できるようにすると良い。
- 散策マップは伊勢市観光課とまとめると良い。

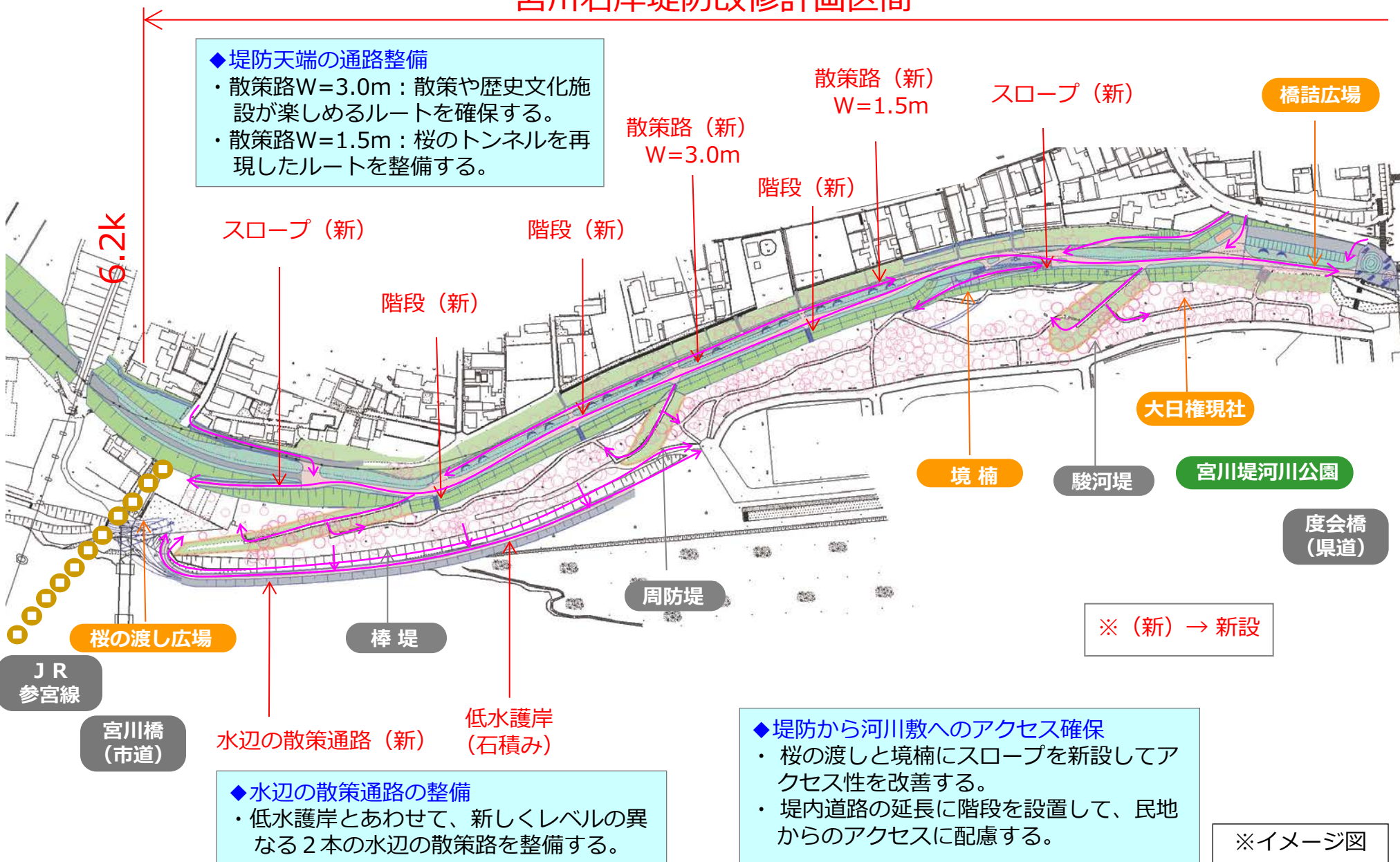
◆ 宮川右岸堤防（桜堤）改修計画の位置づけ

- 堤防改修計画は、宮川と伊勢歴史の道を軸にして、伊勢市の計画や土地利用規制等と計画調整を図り、伊勢や宮川の歴史や景観を将来に継承し、周辺地域の「にぎわい・活性化」に発展する整備を目指す。



1. 動線について（下流区間：宮川橋から度会橋）

宮川右岸堤防改修計画区間



1. 動線について（上流区間：度会橋から浅間堤）

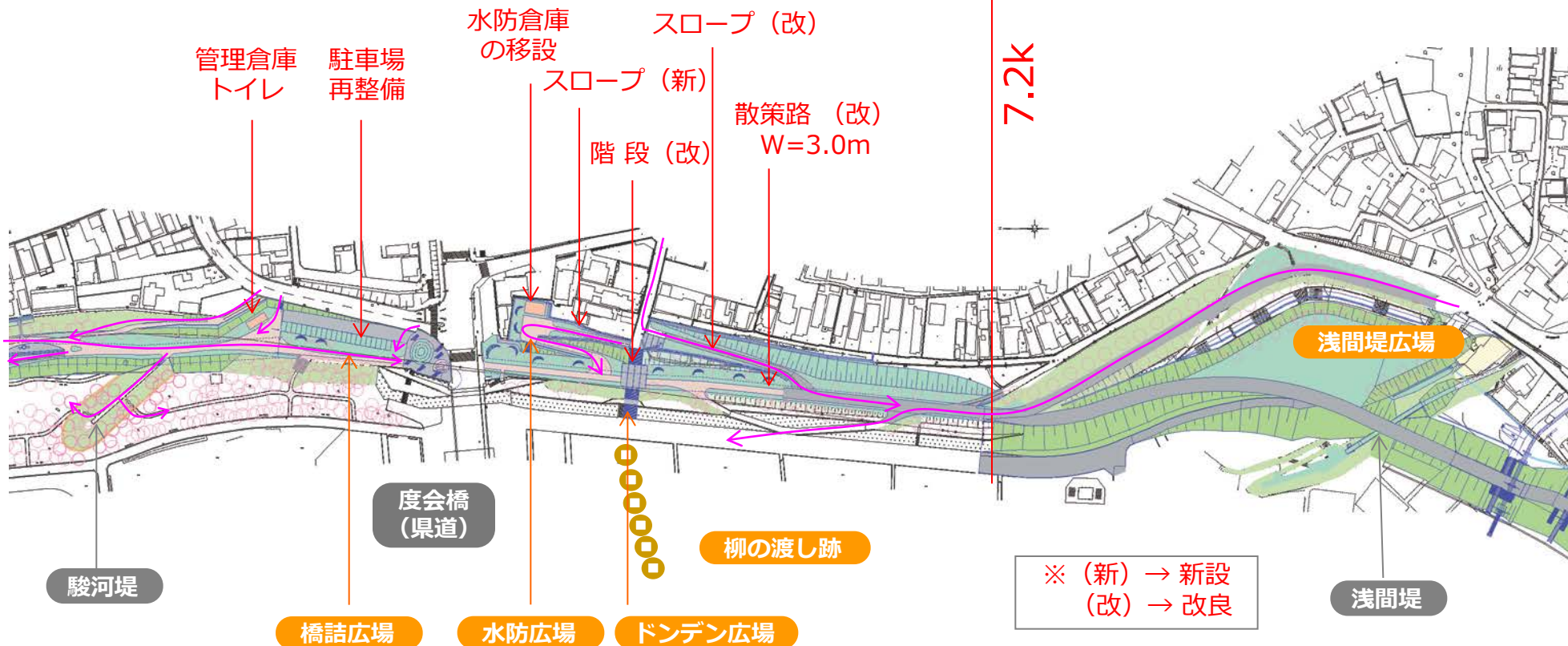
宮川右岸堤防改修計画区間

宮川床上浸水対策特別緊急事業

改修済み区間

- ◆水防広場のスロープ整備
・水防広場へのアクセス路を確保する。

- ◆自動車通行坂路の整備
・堤内から河川敷への自動車通路を確保する。



- ◆ドンデン場の階段整備
・お木曳き行事にも配慮した階段を再整備する。

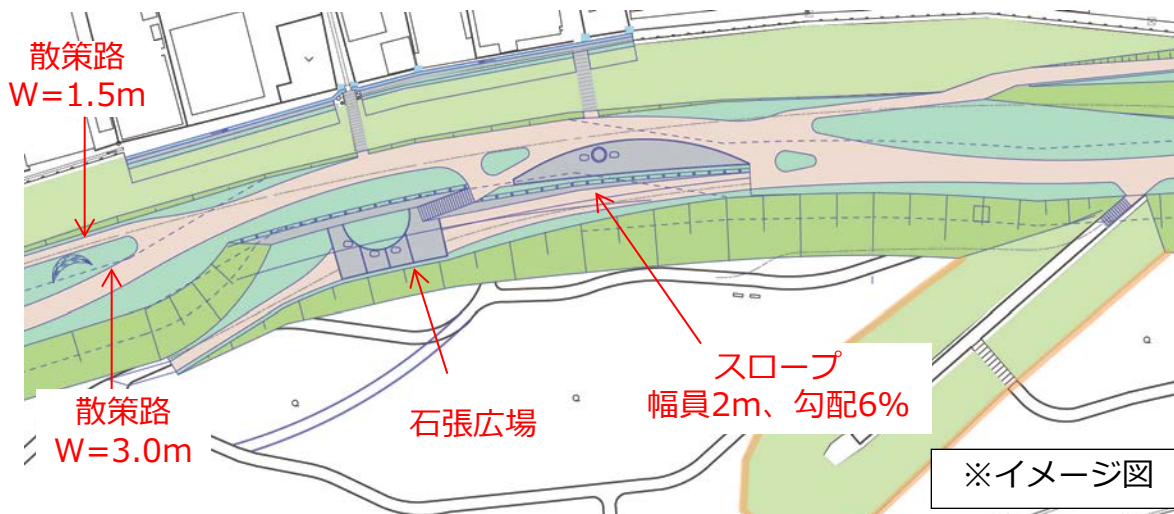
- ◆堤防天端の通路整備
・散策路W=3.0m：側帯に桜を植樹して、桜のトンネルを再現したルートを整備する。

※イメージ図

◆ 景観検討委員会意見

- ・ 通路や坂路のバリアフリーの考え方についてまとめて欲しい。石張はバリアフリーとしては厳しい。

境楠周辺の整備計画の例



◆ 石張りについて

- ・ 伊勢市駅から外宮にいたる石だたみ参道などを参考にして整備する考えです。
- ・ 石だたみは、歩きやすい仕上げとします。

◆ スロープ（桜の渡し、境楠、水防広場）

- ・ 縦断勾配は6%とする（車椅子利用者は介助者付の通行を前提で計画）
- ・ 幅員は坂路上で安全にすれ違いができるように2m以上とする。

◆ 堤防天端やスロープの舗装

- ・ 景観、走行性に優れる脱色アスファルト舗装とする。



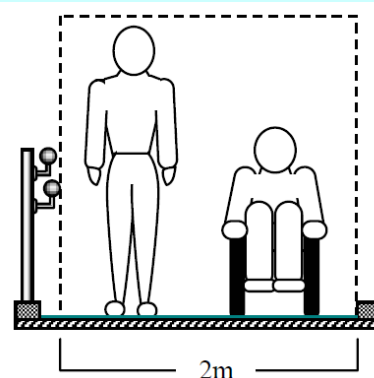
脱色アスファルト舗装（宮崎県西都市）

◆ 広場の石張舗装

- ・ 平滑で滑りにくい表面仕上げ（ビシャン仕上げ）とする。



石張舗装（伊勢市外宮参道）



歩行者：0.75m
車椅子：0.9m

参考：スロープの利用形態例「福祉の荒川づくり設計のてびき」

◆ 景観検討委員会意見

- ・ 1年を通じて季節を感じられるような植樹が良い。
- ・ 四季折々で楽しめる木を植えていただきたい。

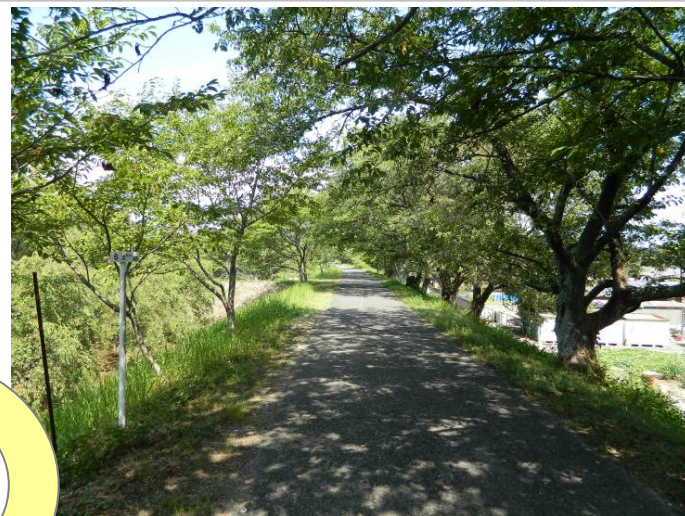
◆ 宮川堤の植樹計画について

- ・ **宮川堤の名勝としての指定価値は、明治以降に植樹された桜並木に求められる。**
- ・ 宮川右岸堤防改修では、現況の桜の景観を継承する計画を基本方針とする。
- ・ 伐採した桜を新しく植えなおす場所（側帯）を確保することを第一義に考えて設計している。
- ・ 桜以外の植樹については、植えられるスペースが少ないため、新しく広場的な場所を整備する場所でシンボル樹として植えることが考えられる。

(春)



(夏)



(冬)



(秋)

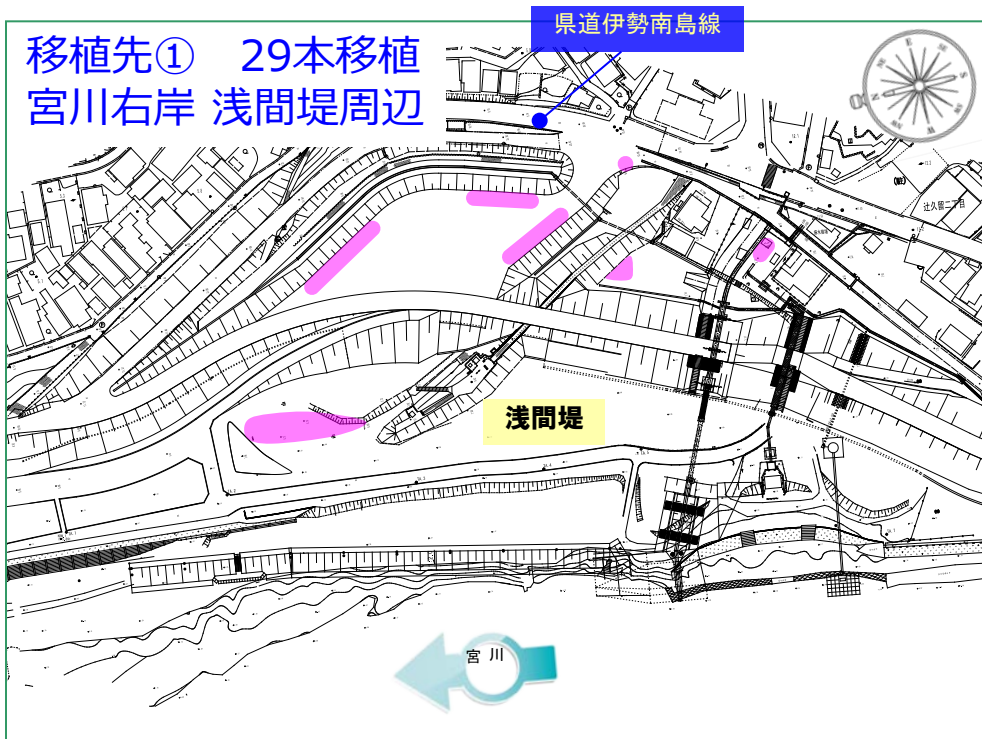


2. 植樹について（シダレザクラの移植）

- ◆ 地元住民が植栽してから6年程度経過、樹高3～5m程度、約50本。
- ◆ 極力移植できる桜は近隣に移植するように、地元住民からの要望がある。

- ◆ シダレザクラの移植（2/25～）
 - ・ 樹木医に確認したところ、高水敷のシダレザクラが移植可能（適期1～2月）であることから、堤防改修工事に先立ち、現状変更許可申請手続きを行い、移植を実施。

移植先① 29本移植
宮川右岸 浅間堤周辺



移植先② 20本移植
宮川左岸 中須町付近



この一帯は、針葉樹から広葉樹への転換を図ります



【移植前】周防堤付近のシダレザクラ



【移植後】浅間堤付近のシダレザクラ

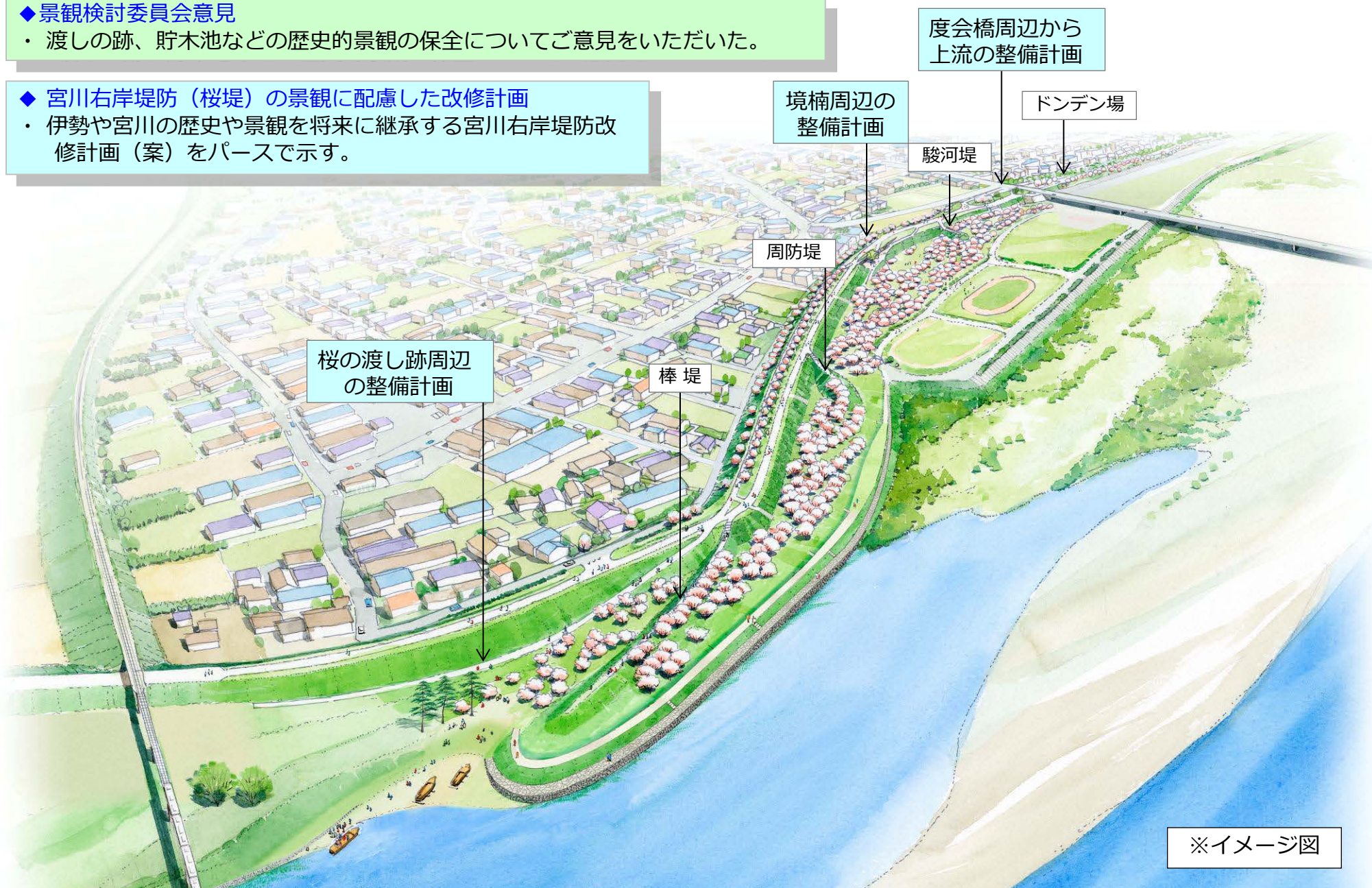
3. 歴史的景観の保全について

◆ 景観検討委員会意見

- ・ 渡しの跡、貯木池などの歴史的景観の保全についてご意見をいただいた。

◆ 宮川右岸堤防（桜堤）の景観に配慮した改修計画

- ・ 伊勢や宮川の歴史や景観を将来に継承する宮川右岸堤防改修計画（案）をパースで示す。



※イメージ図

3. 歴史的景観の保全について（桜の渡し跡周辺）

◆ 景観検討委員会意見

- ・ 渡しの跡は、宮川橋が下流に架け替えになると宮川の渡しがあった場所の意味が薄れてしまうので、歴史的、文化的イメージを感じられる整備について検討する必要がある。
- ・ 桜の渡し跡の整備イメージは、自然な形なので良いと思われる。小俣のように人工構造物は無い方がいい。



◆ 桜の渡し跡周辺の整備計画

- ・ 低水護岸とあわせて、新しく水際の散策路を整備する。
- ・ 自然石の低水護岸を棒堤下流で巻込んで、自然な州浜が形成されるようにする。
- ・ 広場や植樹の具体的な計画については、今後伊勢市が検討する。

3. 歴史的景観の保全について（境楠周辺）

◆ 境楠周辺の整備計画

- ・ 境楠、大日権現社は現在の位置に保全する。
- ・ 境楠周辺に小広場とスロープを整備する。



境楠付近のヤマザクラと築堤位置



◆ ヤマザクラの樹木医による現地確認について

- ・ 堤防上のヤマザクラは築堤により根が窒息すると考えられるため、保全が困難である。
- ・ 宮川堤には他にもヤマザクラがあるので、今後、地域で紹介して保全していくことが望まれる。

※イメージ図

3. 歴史的景観の保全について（度会橋周辺から上流）

◆ 景観検討委員会意見

- ・ 渡しの跡は、小さな石碑だけではわからないので、対岸を眺めて渡しの跡がわかるように兩岸に柳を植えるなど植樹の仕掛けがあると良い。
- ・ 歴史文化を伝えるものとしては、サインだけでなく工夫が必要である。



◆ 度会橋上流の整備

- ・ 柳の渡し跡やお木曳き行事の歴史を後世に伝えることができるように階段や小広場を整備する。
- ・ 柳の植樹の具体的な計画については、今後伊勢市が検討する。

◆ 度会橋下流橋詰広場の再整備

- ・ 桜堤のエントランス、桜の維持管理拠点となるように、今後伊勢市が検討する。

※イメージ図

◆ 景観検討委員会意見

- ・ 総合案内には、子供や水に親しむ人をふやすためにも宮川の魚も紹介すると良い。
- ・ 生物も含めて宮川を考えると良い。

◆ サイン計画について

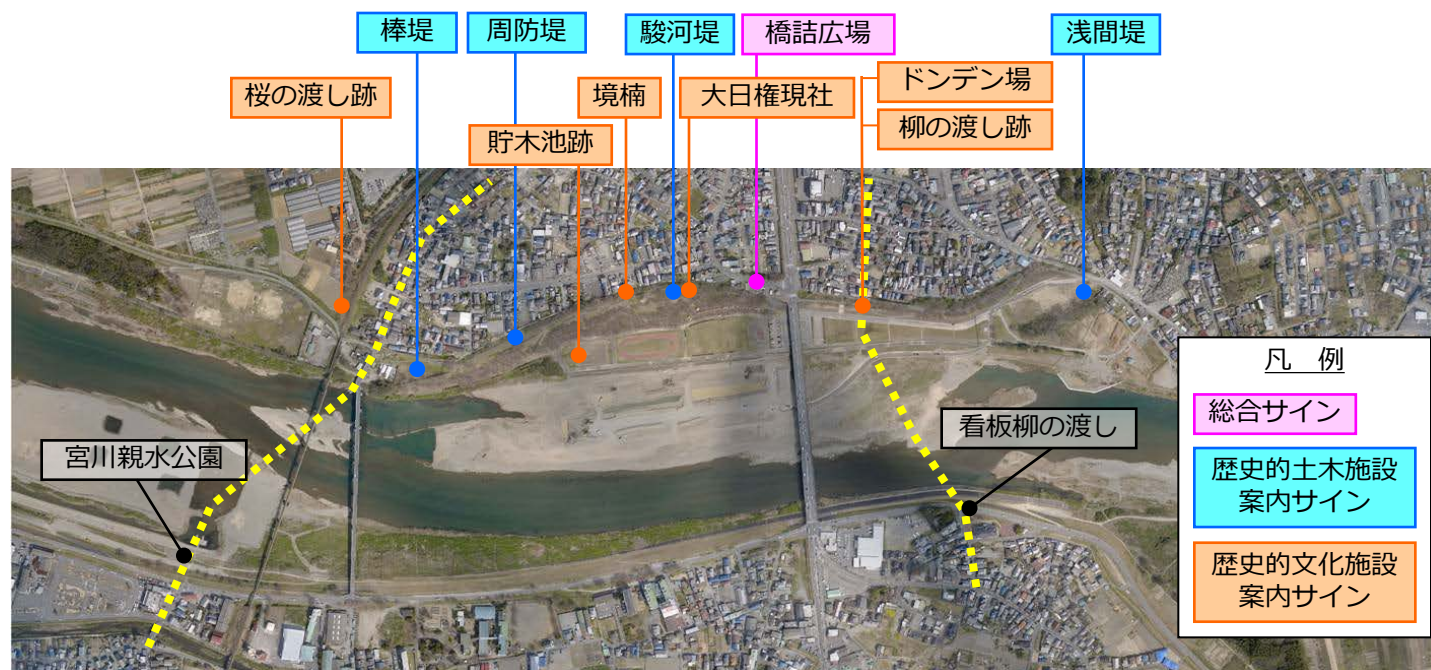
- ・ 宮川の美しい河川景観やユニバーサル化を形成するため、訪れる誰もが必要な情報を的確に得られるように、宮川にふさわしい「サインシステム」を構築し、整備する。

◆ サインシステムの留意事項

- ① 案内・誘導・説明・規制（危険防止）情報を効果的に提示する。
- ② サインの集約と統一感のあるデザインで景観的な混乱を抑える。

◆ 今後の進め方について

- ① 関係機関・専門家が連携し、整備推進体制を構築して検討する。
- ② 宮川で統一したサイン設置方針を検討する。
- ③ 地域住民とのワークショップや協議会で決めていくプロセスも考えられる。



◆ サインシステムとは

- ・ 目的や役割に応じた形態と表示方法を与えたサインを、適材適所に配置することで実現する仕組みをいいます。

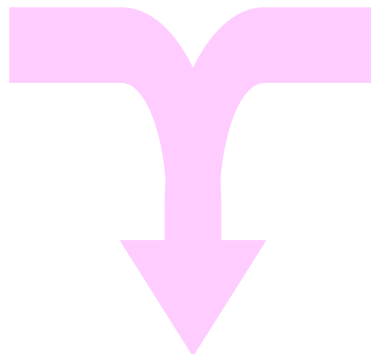
4. サインについて

◆サインに掲載する情報の例

- ①案内誘導（現在の地図、利用施設、散策ルート）
- ②歴史学習（宮川の治水対策、歴史年表、昔の絵図）
- ②環境学習（宮川の桜、宮川や自然や生物）
- ③規制サイン（危険行為や迷惑行為の防止）

◆サインデザインの留意事項

- ①複数の設置者が係わる統一的な考え方
- ②宮川にふさわしい景観的なデザイン
- ③誰もが親しみやすく、わかり易いデザイン
- ④耐久性が高く、維持管理しやすい構造



◆宮川でみられる魚類

- 感潮区間：マハゼ、チチブなどのハゼ類
- 中流域：オイカワ、ウグイ、ヨシノボリ等
- 上流域：アカザ、アブラハヤ等

◆宮川の貴重な生物（国指定の天然記念物）



ネコギギ



コクガン



オオサンショウウオ



河川名標識：地域の呼び名に基づいた「三隈川」の標識

案内標識：三隈川の案内、規制標識を統合した見やすい標識



1600年代初頭の水利システムの復元

石井樋（いしいび） 嘉瀬川（佐賀県）



国営木曽三川公園の基準により、イメージ統一、ユニバーサルデザインへの対応を図ったサイン

河川環境楽園 木曽川（岐阜県）



九州川標プロジェクト 筑後川（大分県）
（筑後川河川事務所）

宮川右岸堤防改修計画の策定

第1回委員会（H25.10.29開催）

第2回委員会（H25.12.20開催）

第3回委員会（H26. 3.18開催）

現状変更の変更手続き（H26. 3月）

春まつり（H26. 4月中旬まで）

改修工事に着手（H26. 4月中旬から）
棒堤上流～駿河堤付近

桜の植樹（H26. 12月頃から）

年に1回程度 フォローアップ委員会の開催

H26年度以降 改修工事の継続実施